

わんぱく学園ニュース

平成18年 5号 No124

夏の歩みが始まる立夏——

細長い葉を2～3枚根元につけるだけで、茎の頂にほっそりした穂をなし、淡紅色の小花をつづる。この花の穂がねじれているのでねじ花とも言うとか……。

「文字ずり草、こころの居場所、此処と決め」～垣

トホホなオヤジになりたいです

雲南市木次町 石照庭園園児 堀江 研次

(前 島根日日新聞社記者)

難しい話は何ですので、いきなりマンガの話で。

中崎タツヤさんという漫画家の作品の一つ。ある子どもが学校でいじめに遭っていることが明らかになります。父親は乗り込んで行って校長に「責任を取れ」と言います。校長は現金を差し出しますが父親は「そうじゃない」と言って払いのけます。校長は返す言葉で「では、私に辞めろと？」と。父親が「そうじゃない。責任を取れというのは、子どもが安心して通える教育環境をつくるということじゃないのかい！」という、校長は教諭と顔を見合わせ「気が付かなかった」というオチ。もう一話。ゲンコツ食らった子どもの母親が、相手の家へ乗り込んで怒り、「謝れ！」と怒鳴ります。父親は金を持ち出しますが払いのけ「誠意を見せなさい」と再度怒鳴ります。父親はどうも謝ることが苦手なようで「あの一、これで私が謝らなかったらどうします？」と聞くと、相手は「警察に訴えきす！」。父親は、すまなそうに「そうしていただくと助かります」。「んまー！」(母親)というのがオチ。父親の横でゲンコツを張った子どもは、うれしいような困ったような顔をしています。

今は子どもを持たない私です。現出二つのマンガは矛盾しているようですが、できれば「こんなオヤジになりたいな」と夢想している

春日和です。

さて、4月に楽しんだ『学園』の遊びの一部を紹介致します。

♪ 歓声上がる子どもたちの声
～「タケノコあったよ」
「ここにもあったよ」～

タケノコ掘り

4月、桜の花の見頃だというのに、何日この雨が続くのだろう。「タケノコ掘り」の前日も雨。「明日は中止だな」と思いながら寝た。ところが、当日の16日の朝は、夜中まで降り続いた雨が上がっていた。7時過ぎ、土江和世さんの実家のお兄さん原周弘さんに連絡を取り、予定通り行かせてもらうことにした。

担当の私は、参加する家族に「子どものズボンの履き替えを」と連絡。9時30分アトリエ「おちらと」集合。通級関係の参加者ばかりであったが、大人10人、子ども9人の大勢であった。到着する頃にはこの日の子どもの期待を裏切ってはいけないと素晴らしい青空になっていた。可愛い手にシャベルを持って掘る気満々。すでに原周弘さんが、連日の雨でぬかるんでいる裏山に行く道中に敷石をしたり、スコップなどを準備をして待っていて下さった。

みんなで元気よく挨拶をして、原周弘さんの話を聞いた。今年はタケノコの生えが遅く、その上、我々より先に無断先客の鹿が美味しいところだけを食べて、あちこちに糞を残して去った後であった。

裏山に行くと子どもたちは、タケノコを見つけて大喜び。出雲養護の2年生リコちゃんは、大声で「タケノコ見つけたよ！」と。シャベルで掘るがなかなか掘れず、大切なところを残して折ってしまったり。さすがわんぱくスタッフの福田稔さんは、つるはしを持って来られ黙々と一人で掘っておられた。「わっ！ 良いのがあった」と喜ぶ大人。しかし、根元までなかなか掘れず大変であった。

採ったタケノコを集めると結構たくさんあった。参加者10家族に分けようと、10個出来たタケノコの山をじゃんけんで勝った家族からいただいた。わいわい言いながら大人が目ランラン。

八重桜の下で原周弘さんが用意して下さっていたシートに座って、

お弁当タイム。お弁当のない者もお互いに気持ちよく少しずつ分け合い仲良く食べるのも、わんぱく学園ならではの…。ジュースやお菓子までいただいた。十分タケノコももらったのに、タケノコが少ない時にはと、一斗缶に入ったタケノコの缶詰までたくさんいただいた。今回は楽しい実のあるわんぱく行事であった。

原周弘さんに感謝感謝しながら家路に着いた。ありがとうございました。

今回のように大自然の中での楽しい体験を、もっと多くの子どもたちにたくさん味合わせたいものと思った。

(学園スタッフ 原 幸枝 記)

— ありがとうございます —

「わんぱくニュースの郵送料に使って下さい」と、切手をご寄贈下さる方々に、この書面でもってお礼を申し上げたいと思います。限られた財政の中、本当に大助かりです。思いがけない温かなお心づかいに、学園の子どもたちそしてスタッフ一同心より御礼申しあげたいと思います。元気をありがとうございました。

◆5月の「わんぱく学園」のメニューは下記の通りです。

5月 14日	宍道の森林公園で遊ぼう (担当 原 轍・山口 野) おにぎり 水筒 ごみ入れ袋 雨天の場合「おちらと」 みんなでごみ拾いしようか? 集合場所; 光人塾前駐車場
21日	粘土コネコネあそぼ! (担当 尾原 圭子 土江 紘・瀬 阿トリエおちらと) 野だて(神の里)…山崎古墳にて 材料費200円 直接「阿トリエ」おちらとへ来てもいいですよ
28日	竹笛つくって遊ぼう (担当 福田 稔・瀬 阿トリエおちらと) ちょっと面白そうな竹笛で竹笛演奏楽しまない? 小刀がある人は持って来てね 竹は学園で準備

※集合時間 9時30分 集合場所 文化館駐車場 [文責 土江和世]